

令和6年度第1回碧南市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議

議事要旨

日 時	令和6年8月1日（木） 午後3時～午後4時30分		
場 所	碧南市役所 7階 議員大会議室		
出席者 ■出席 □欠席	推進会議 委員	■小池市長 ■石川委員 ■横山委員 ■原田委員 ■磯貝委員 ■鈴木委員 ■請井委員 ■岩崎委員 ■今成委員 ■古澤委員 □森委員 □稲生委員 ■天野委員 ■鈴木委員 ■神谷委員 ■高須委員	
	事務局	杉浦総務部長、山本経営企画課長、杉浦経営企画政策推進係長、杉浦主査、磯貝商工課長、亀島農業水産課長、中川環境課長	
傍聴者	1名		
次 第	1 市長あいさつ 2 第2期碧南市まち・ひと・しごと創生総合戦略の実績報告について 3 第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略（仮称・人口ビジョン含む）の方向性及び骨子案について 4 今後のスケジュール（案）について 5 意見交換		
1 市長あいさつ	○市長よりあいさつ		
2～5	○本日の議事録及び資料は市のホームページで公開することを説明 ○2から議長（市長）により進行、事務局から資料説明 ○5意見交換により聴取した内容は以下のとおり		
委員からの主な発言			
次第5よりの意見			
横山委員	○バブル崩壊後、コロナの影響から商店街はずっと厳しい状態が続いている。 ○現在の物価高の影響もかなり大きいと感じている。 ○街路灯の移転・修理の補助をお願いしたい。 ○他市で行っているデジタルクーポンを碧南市でも行ってほしい。		
事務局	○いただいた意見を担当課に伝えます。		

原田委員	○J Aの各部会で市長表敬訪問を行い、農産物等をPRさせていただいている。 ○碧南の農産物のブランド化を今後も進めていければと考えている。 ○最近の天候が安定せず、普通ではないため、農作物を作るだけで精いっぱいの状態となっている。
事務局	○市としても碧南の農産物の魅力を発信し、伝えていきたいと考えている。今後も協力していく。
鈴木委員	○現在国土形成計画を作成しており、冬頃に中間とりまとめの素案が発表できる予定である。 ○先ほどの実績報告にあった人口問題について、外国人が人口減少に貢献しているんだなと改めて感じたところ。 ○住みやすさの満足度はどのように調べているのか。
事務局	○年に一度無作為抽出した1,500名の市民に対し、市民アンケートを行っており、その結果を載せている。
磯貝委員	○先ほどの実績報告の中でも触れられていた漁業従事者185名について、実際に動いているのは120名程度。最高齢の方は90歳の漁師もあり、高齢者はなかなか漁に出ていけない状況。 ○燃料費が高騰しているのでとても苦労している。 ○大浜の魚は美味しいが、自然を相手にしているので安定してとれない。
請井委員	○5月に愛知県・市町村人口問題対策会議を立ち上げ、碧南市はオブザーバーとして参加していただき、感謝している。 ○今後PDCAサイクルをどのように回していくのか。
事務局	○総合計画とは別に、3年間の短期計画である実施計画があり、毎年度ローリング方式によって計画の修正を行い、予算編成及び事務執行の指針としている。
岩崎委員	○総合戦略の改訂にあたり、DX・GXを入れることは全国的な流れとなっている。 ○今後の市の課題として、働き手をどう確保していくか。先ほどの実績報告でもあったが、市の総人口において外国人の占める割合が年々上がり、日本人は減り続けている。外国人、外国にルーツをもっている人がどう定着させていくか考えないといけない。外国人に選ばれる土地になればいけない。 ○人口ビジョンに外国人の地区別の数値も入れるべき。 ○赤ちゃんサロンについて人数だけではなく、どれだけ希望者がいるのかまで入れてほしい。
事務局	○本会議前に行われたまち・ひと・しごと創生総合戦略推進本部で外国人の地区別の割合についての話が出たため、次回の素案作成に反映させていくことを検討していきたい。 ○ご指摘いただいたKPIの見直しについても参考にさせていただく。

今成委員	○日本政策金融公庫では、能登地震や直近の大雨などで被害のあった企業などに対しでセーフティーネット機能を充実させた取組を行っている。またスタートアップ支援や事業承継支援にも力を入れている。 事業者を減らさない取組を行政と共にやっていけたらと考えている。 ○人口の社会増減について、転入者が多いという結果が意外であった。
事務局	○西三河の地域性として自動車産業がさかんであることが、転入者が一定数いる要因となっている。
古澤委員	○実績報告において、全体の設備投資額だけではなく、中小零細企業だけの数字もほしい。やはり地域を支えているのは中小零細企業であるため。 ○金融業界の課題として、老年の方々の金融取引が難しくなっている。行政と一緒に取組み、住みよいまちにしていきたい。
事務局	○K P I の内容について参考させていただく。
鈴木委員	○市内に宿泊施設がないのに、宿泊者数の基準値がかなり高いように感じる。 ○保育士がかなり不足している。 ○外国人の子どもの不登校について、日本語が話せないことが要因となっているケースがある。 ○道路の植樹の背が高く、小学生などは見えなくなっている。
事務局	○宿泊者数については、コロナ禍前に決めた基準値であるため、現在の状況とかなり乖離がある。このことも踏まえて第3次の総合戦略に反映させていきたい。 ○外国人の日本語教室については、実績報告にもあったように高い通室率ではあるが、今後も力を入れていきたい。
神谷委員	○女性が働く時代になったことから、私たちが属する団体などの後継者を探すことが本当に難しくなっている。
事務局	○後継者不足については、どの団体にもあてはまる問題であるが、今後も活動が続けていってほしい。
高須委員	○元気ッスで数名熱中症の方がいたが、大事には至らず、関係者の方々に大変感謝している。 ○保健センターで検診を受け、子どもの発育に不安がある方が保健師に相談したところ、あまり親身になって話を聞いてくれなかったという話があった。初めて子育てをする方は不安な気持ちが大きいし、心配をするのでうまくコミュニケーションをとってほしい。 ○免許を返納した方や、車がない世帯などに対するタクシー券などがあるといいと思う。
事務局	○保健師については、担当課に話を伝えている。 ○タクシー券の配布については行っているものの、碧南市にはタクシー会社が少なく、タクシー自体がかなり少ないという現状である。今後も交通弱者に対する支援は行っていきたい。

天野委員	○碧南市民の満足度が高い。これは他市ではあまり聞かれないこと。 ○デジタル庁のウェルビーイング指標を使い、各市の地域幸福度等を分析しこれからのまちづくりに役立てていけたらと思う。 ○碧南市においては飲食を楽しめないことや公共交通に対して満足度が低いなどのデータがあるので、これらの意見を加味して新しい総合戦略を作成していけたらと考える。キャッチとしても協力していきたい。
事務局	○市民満足度についてはこれまで力を入れてきた結果だと考えられる。 ○ウェルビーイング指標も参考に総合戦略を作成していきたい。